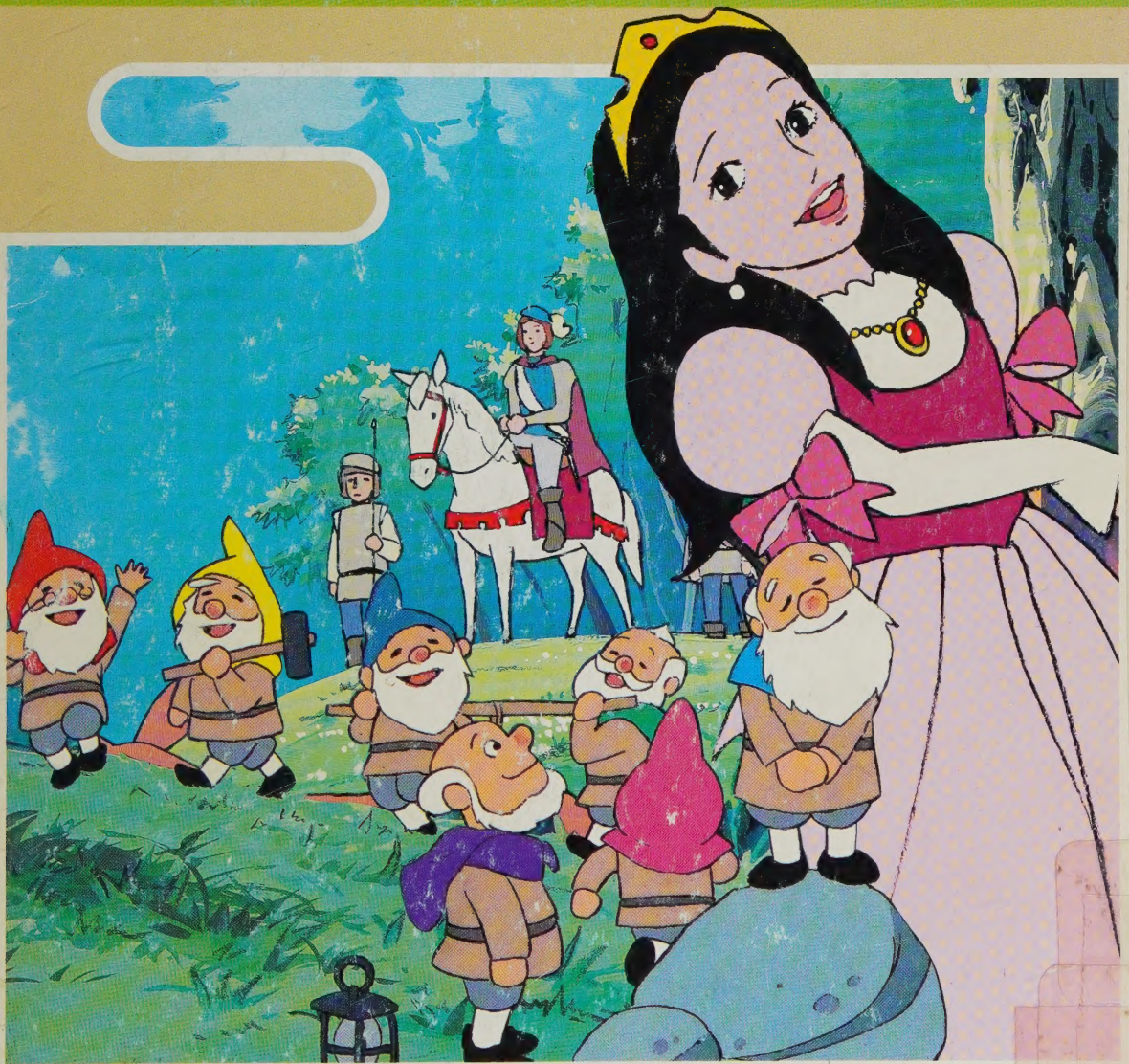


KANA READERS

KODANSHA NIHONGO FOLKTALES SERIES 5

しらゆきひめ

THE STORY OF SNOW WHITE



General Editor: Hiroko C. Quackenbush Ph.D.

Illustrations: Yasuji Mori and Kazue Ito

KANA READERS

KODANSHA NIHONGO FOLKTALES SERIES 5

しらゆきひめ

THE STORY OF SNOW WHITE



Prospect Heights Public Library
12 N. Elm St.
Prospect Heights, IL 60070

KODANSHA INTERNATIONAL

Tokyo · New York · London

The Japanese Syllabary

Romanized Syllables
 Katakana
 Hiragana

a	ka	ga	sa	za	ta	da	na	ha	pa	ba	ma	ya	ra	wa	n
ア	カ	ガ	サ	ザ	タ	ダ	ナ	ハ	パ	バ	マ	ヤ	ラ	ワ	ン
あ	か	が	さ	ざ	た	だ	な	は	ぱ	ば	ま	や	ら	わ	ん
i	ki	gi	shi	ji	chi	ji	ni	hi	pi	bi	mi	—	ri	—	—
イ	キ	ギ	シ	ジ	チ	ヂ	ニ	ヒ	ピ	ビ	ミ	—	リ	—	—
い	き	ぎ	し	じ	ち	ぢ	に	ひ	ぴ	び	み	—	り	—	—
u	ku	gu	su	zu	tsu	zu	nu	fu	pu	bu	mu	yu	ru	—	—
ウ	ク	グ	ス	ズ	ツ	ヅ	ヌ	フ	プ	ブ	ム	ユ	ル	—	—
う	く	ぐ	す	ず	つ	づ	ぬ	ふ	ぷ	ぶ	む	ゆ	る	—	—
e	ke	ge	se	ze	te	de	ne	he	pe	be	me	—	re	—	—
エ	ケ	ゲ	セ	ゼ	テ	デ	ネ	ヘ	ペ	ベ	メ	—	レ	—	—
え	け	げ	せ	ぜ	て	で	ね	へ	ぺ	べ	め	—	れ	—	—
o	ko	go	so	zo	to	do	no	ho	po	bo	mo	yo	ro	wo	—
オ	コ	ゴ	ソ	ゾ	ト	ド	ノ	ホ	ポ	ボ	モ	ヨ	ロ	ヲ	—
お	こ	ご	そ	ぞ	と	ど	の	ほ	ぽ	ぼ	も	よ	ろ	を	—

Distributed in the United States by Kodansha America, Inc., 114 Fifth Avenue, New York, N.Y. 10011, and in the United Kingdom and continental Europe by Kodansha Europe Ltd., 95 Aldwych, London WC2B 4JF.

Published by Kodansha International Ltd., 17-14, Otowa 1-chome, Bunkyo-ku, Tokyo 112, and Kodansha America, Inc.

Copyright © 1993 by Kodansha International Ltd.

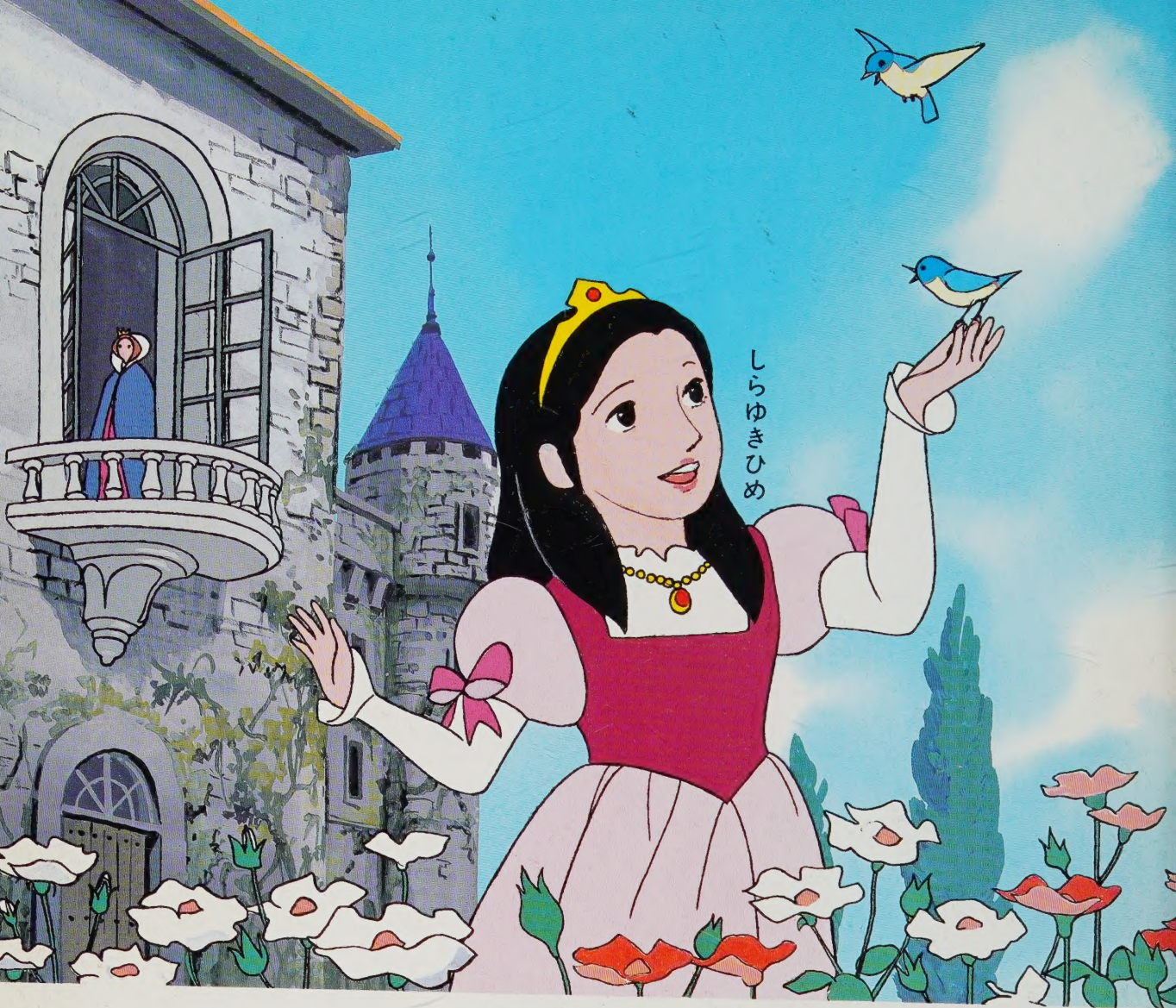
All rights reserved. Printed in Japan.

First edition, 1993.

93 94 95 10 9 8 7 6 5 4 3 2 1

ISBN 4-7700-1795-2

Prospect Heights Public Library
 12 N. Elm St.
 Prospect Heights, IL 60070



しらゆきひめ

おうさま も おきさき
も しらゆきひめ が
だいすき でした。

ことりたち や はなたち
も きれいで やさしい
しらゆきひめ が だいすき
でした。

しらゆきひめ は ことり
たち や はなたち と
まいにち なかよく
あそんでいました。

しらゆきひめ は
しあわせ に くらして
いました。

ところが あるひ
おきさき が びょうき で
なくなって しまいました。
それで、 あたらしい
おきさき が おしろ に
きました。



いました。

まつしろい ゆきが ふって

むかし もりの
なかに おおきな
おしろ が ありました。
その おしろ に
おうさま と おきさき
が、すんで いました。

うつくしい あさ でした。

おしろ の へや の なかで おきさき が
あかちゃんの ようふくを ぬって いました。

おきさき は まどを あけて、ゆきを
ながめて いました。

おきさき 「かわいい あかちゃん が

うまれます ように」

やがて かわいい あかちゃん が うまれました。
あかちゃんの なまえ は しらゆきひめ です。



おきさき

しらゆきひめ は

うつくしい おひめさま に

なりました。

あたらしい おきさき は きれいな ひと でした が、
いじわるな ひと でした。

おきさき は まいにち かがみ に ききました。

おきさき 「かがみさん、かがみさん、**せかいじゅうで
いちばん** きれいな ひと は だれ」

かがみ 「おきさき です」

あるひ かがみ が こたえました。

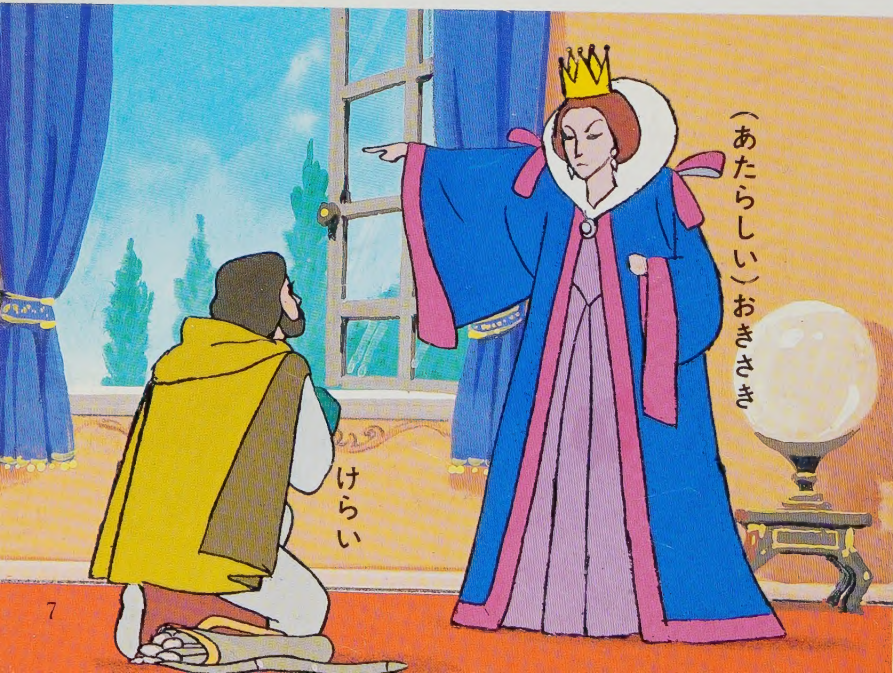
かがみ 「おきさき は うつくしい。けれども

しらゆきひめ は **もっと** うつくしい」

それを きいて おきさき は おこりました。そして
けらい に いいました。

おきさき 「しらゆきひめ を もり の おく へ つれて
いって ころしなさい」

けらい 「わかりました」





もりの なかに
ちいさな いえが
ありました。

しらゆきひめ 「だれ
が
すんで いる の
かしら」

しらゆきひめ は
おおきな こえ で
いました。

しらゆきひめ

「ごめんください！
こんにちは！」

でも だれ も

へんじ を しません。

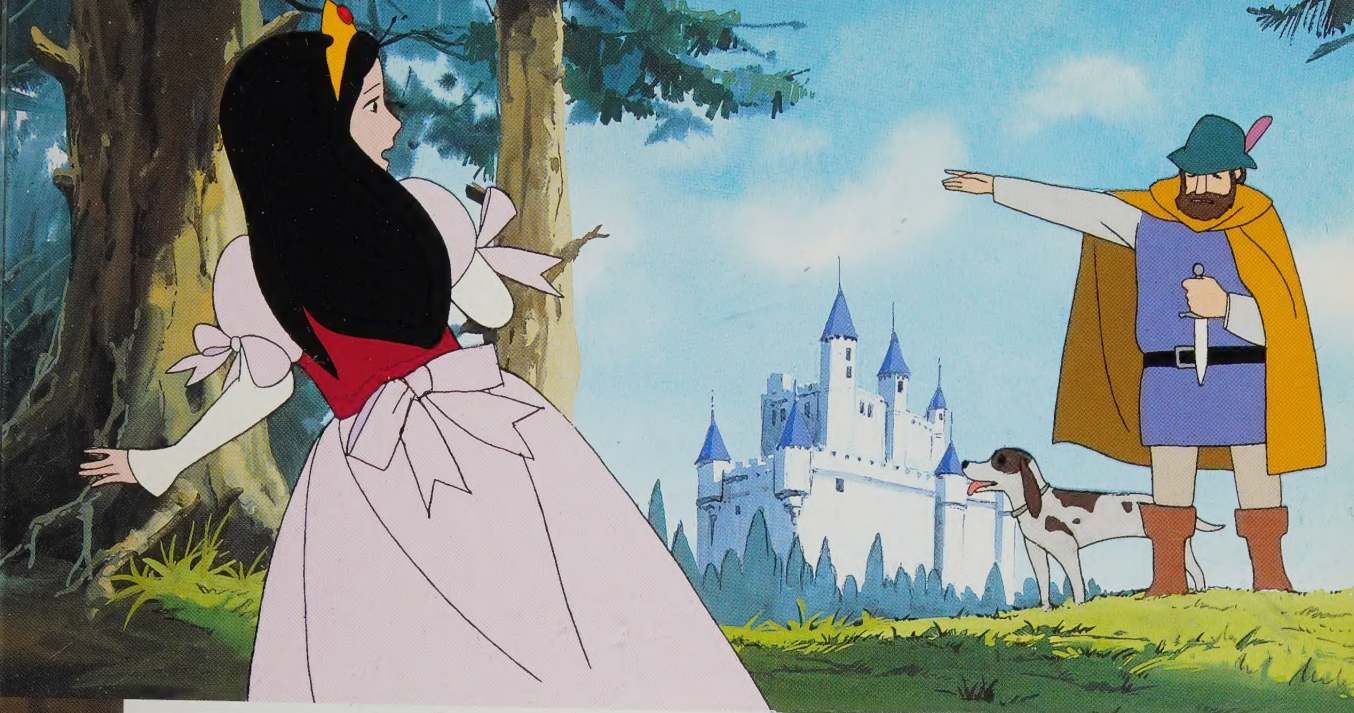
しらゆきひめ

「こんにちは！」

しらゆきひめ は

そっと いえ の なか
にはいりました。





けらい は しらゆきひめ を つれて
 もり の おく へ はいって いきました。

けらい は やさしい ひと でした。

しらゆきひめ を ころす ことが
 できません。

けらい 「はやく にげて ください。とおく
 へ いって ください。おしろ に

かえって きて はいけません」

けらい は おしろ に かえって うそ を
 つきました。

けらい 「おきさきさま、ただいま かえりました。

しらゆきひめ を ころして きました」

おきさき 「ごくろうさま」

かわいそうな しらゆきひめ は もり の
 なか で ひとりぼっち でした。

しらゆきひめ 「どこ へ いったら いい の。

くらくなったら どう しよう。

どこ で ねたら いい の」

しらゆきひめ は なきながら もり の
 なか を あるきました。





しらゆきひめ

「ああ つかれた」

しらゆきひめは

とても つかれて

いました。ちいさい

ベッドをならべて

ねむりました。

やがて しちにん の

こびとたちが

かえって きました。

この いえは

こびとたちの いえ

でした。

こびと「だれかが

そうじして

くれた ぞ！」

こびと「だれかが

おさらを あらって

くれた ぞ！」

こびと「だれかが

ベッドで

ねむって いる ぞ！」

しらゆきひめ 「だれか が
 すんで いる の だわ」
 ちいさい テーブルの
 うえ に コップ が
 ななつ、おさら が
 ななまい あります。
 よごれた まま です。
 ちいさい テーブル
 と まわりに
 ちいさい いす が
 ななつ あります。
 しらゆきひめ 「ずいぶん
 ちらかって いる わ」
 しらゆきひめ は
 いえ の なか を
 そうじ しました。
 コップ も おさら も
 きれいに あらいました。
 となり の へや に



ちいさい ベッド が
 ななつ ありました。

おきさき 「かがみさん、

かがみさん、いちばん きれいな

ひとは だれ」

かがみ 「しらゆきひめ です」

おきさき 「え？ しらゆきひめ？」

おきさき は びっくりして

ききました。

かがみ 「そうです。しらゆきひめ

は もり の なかで くらして

います」

おきさき 「じゃあ わたし が

ころして やる」

おきさき は やさしそうな

おばあさん に すがた を

かえました。

そして もり の なか の

こびと の いえ に

いきました。

おきさき 「こんにちは、きれいな

リボン は いかが です か」





しらゆきひめはめをさましてびつくり
しました。

しらゆきひめ「あなたたちはだれ」

こびと「ぼくたちはこびとだよ」

しらゆきひめ「わたしはしらゆきひめです。

おしろにかえることができません。ここに

いてもいいですか」

こびと「いいよ。ここでくらしてもいいよ」

しらゆきひめ「ありがとう。ほんとうにありがとう」

まいあき、こびとたちはダイヤモンドを

さがしにやまへいきます。

こびと「しらゆきひめ、

いってまいります」

しらゆきひめ「いってらっしゃい」

しらゆきひめはまいにちそうじ

とせんたくとしょくじ

のしたくをしました。

そのころ、おしろでは

おきさきがかみに

ききました。





こたえました。

かがみ「しらゆきひめです」

おきさき は こんどは

わかい むすめ に すがた

を かえました。

どくの くし を もって

もりへ いきました。

おきさき「こんにちは、きれいな

くしは いかが ですか」

しらゆきひめ「まあ、きれいな くし

おきさき「あなたの きれいな

かみのけ が もっと

きれいに なるように」

おきさき は どくの

くしで しらゆきひめ の

かみ を とかしました

しらゆきひめ「くるしい！」

しらゆきひめ は

たおれて うごかなく

なりました。



しらゆきひめ

「まあ きれいな りほん リボン」

おきさき 「よく にあいます

よ。くびに むすんで

あげましょう」

しらゆきひめ 「あつ くるしい！」

しらゆきひめ はいきが

できなく なりました。

おきさき はいそいで

おしろ にかえりました。

やがて こびとたちが

かえって きました。

こびと 「たいへん だ！」

こびと 「しらゆきひめ が

たおれて いる！」

こびとたち は

しらゆきひめ を

たすけました。



しらゆきひめ は すぐに

げんきに なりました。

おしろ では かがみが

また おきさきに



りんご



おきさき 「これで わたしが いちばん きれいな ひとになる わ」

けれども かがみ は いいました。

かがみ 「しらゆきひめ が いちばん きれいです」

おきさき 「うそ でしょう」

かがみ 「ほんとう です。こびとたちが たすけた の

です。しらゆきひめ は いきて います」

おきさき は おこりました。

おきさき 「かならず しらゆきひめ を ころして やる」

おきさき は まほう の りんご を つくりました。

そして その りんご に どく を いれました。

しらゆきひめは
たおれて うごかなく
なりました。

おきさき は よろこんで
おしろ に かえりました。

こびとたち が かえつて
きました。

こびと 「たいへん だー！」

こびと 「しらゆきひめ は
どくの りんご を

たべた ん だ」

こびと 「しらゆきひめ は

しんで しまった」

こびと 「もう たすける

こと は できない」

こびとたち は

なきだしました。

こびとたち は

しらゆきひめ を からす ガラス

の は こ に いれました。





しらゆきひめ
「あっ くるしい!」

おきさき は りんごうり
の すがた に なりました。
おきさき 「こんにちは、おいしい
りんご は いかが です か」
しらゆきひめ 「まあ おいしそう
でも いりません」
しらゆきひめ は ことわり
ました。
おきさき 「わたし が ひとつ
たべて みましょう」
おきさき は りんご を
ひとつ たべました。
おきさき 「ああ おいしい。さあ
あなた も どうぞ
たべて ください」
しらゆきひめ 「ありがとう。では
わたし にも ひとつ ください」
しらゆきひめ は
りんご を たべました。

そして、おきしました。

こびと「なぜしんで

しまったの」

こびとたちは、まいにあ

なきました。もりの

どうぶつたちも、いっしょに

なきました。

こびとたち「もういっしょに

うたをうたおう

こびとたち「できない

こびとたち「もういっしょに

なきました。

みんなは、まいにあ

まいにあ、ないで

なりました。

そこへ、どおい、かに

なりました。





おうじさま

おうじさま も しろい
うま に のって おしろ
に むかいました。

そのとき ガラス^{がらす} の

はこ が ゆれて、

しらゆきひめ は め を

さしました。

しらゆきひめ は

まわり を みまわして

いました。

しらゆきひめ

「ここ は どこ」

おうじさま 「わたし と

いっしょ です よ」

こびとたち 「わあ！

しらゆきひめ が め

を さしました」

どうぶつたち 「わあ！

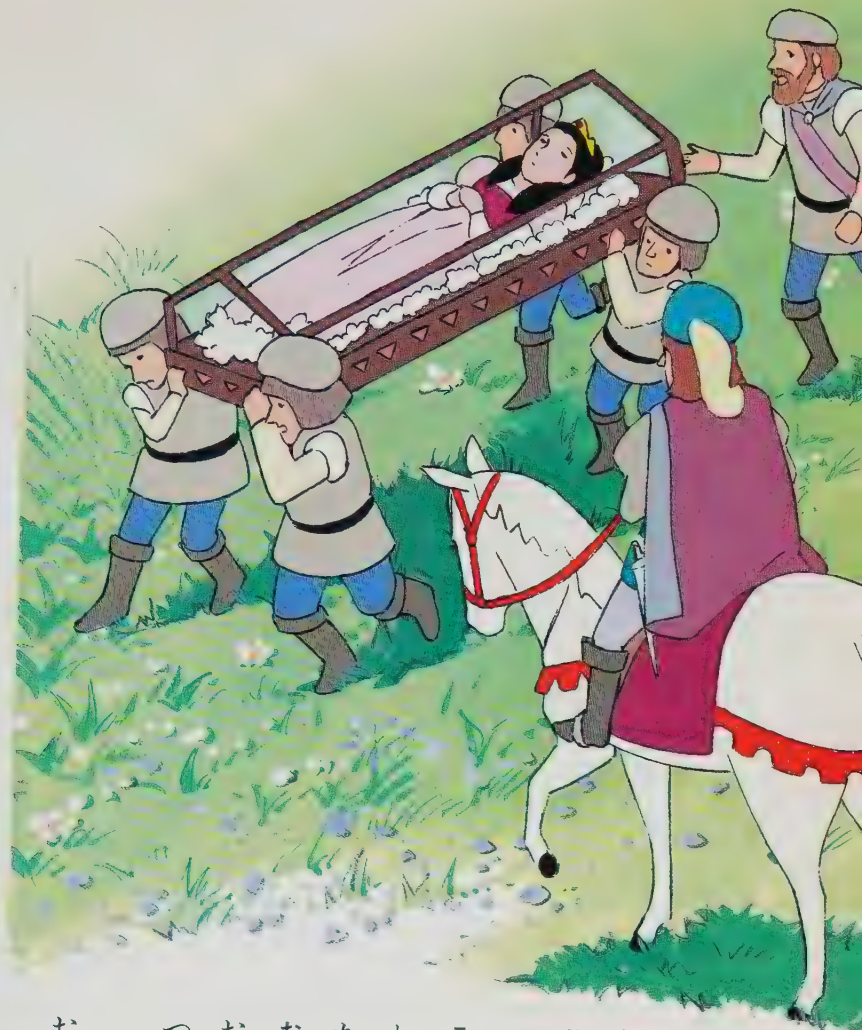
しらゆきひめ が

いきかえった」

みんな とびあがつて

よろこびました。





おうじさま はいいました。
 おうじさま 「この おひめさま を
 わたし に ください」
 こびと 「だめ です」
 こびとたち が こたえました。
 こびと 「しらゆきひめ は
 わたしたち の たいせつな
 たいせつな たからもの です」
 おうじさま 「わたし は この
 おひめさま を おしろ へ
 つれて いきたい の です。
 あなたたち は いつでも
 おしろ へ いらっしゃい」

おうじさま は
 いました。
 おうじさま の けらい
 が ガラス の はこ を
 もちあげて、おしろ の
 ほう へ
 あるきだしました。





おうじさま 「ぼくはあなたがだいすきです。

ぼくのおきさきになってください」

しらゆきひめ 「わたしもおうじさまが

すきです」

こびと 「おめでどう」

こびと 「おめでどう」

こびとたち や どうぶつ はうれしくて

うたをうたったり おどったり しました。

しらゆきひめ 「こびとさん、どうぶつさん、

ほんとうにありがとうございます。みなさん、けいこんしん、

にかならずきてください」

おうじさま と しらゆきひめ は、うまに

のりでおしるにむかいました。こびとたち

や どうぶつたち や こりりたは はて

こびと みおくりました。



11 しちにん

seven (people) ...にん is the suffix used for counting people, and しち means "seven" (see Note F).

こびとたち

dwarves From こびと, "dwarf," and ...たち, a suffix used to express a plural number of people or animals (in Japanese there is normally no distinction between singular and plural nouns).

かえって きました

came back See Note D for an explanation of ...てくる.

G ...て くれた

did ... for us The verb form ...て くれる is used when another person does something for you. For example,

そうじ して くれた

— *she/he did the housework (for me/us)*

おさら を あらって くれた

— *she/he washed the dishes (for me/us)*

H ぞ

ぞ is used at the end of a sentence for emphasis in informal male speech.

12 め を さまして

waking up From め を さます, "to wake up" (literally, "to open one's eyes").

I だよ

だ is an informal way of saying です, commonly used in male speech. The particle よ is used for emphasis, and is similar in meaning to "you see."

いても いいです か

may I stay here?/ is it alright if I stay here? The form ...て も いいです か is commonly used to ask permission to do something. For example,

たばこ を すって も いいです か

— *May I smoke?*

...さがしに やま へ いきます

(they)went to the mountain in order to look for... From the verb form ...しに いく, "to go (in order) to (do)..."

J いってまいります

(we're) going out now A standard expression that is used when leaving home (with the intention of returning). いってきます is a less formal version of this expression.

いってらっしゃい

This is the response to いってまいります or いっ

てきます (see Note J). There is no direct equivalent in English — we would simply say "good-bye."

そのころ

around that time; meanwhile

13 ころして やる

I'll kill (her) The verb form ...て やる is used to talk about actions directed towards juniors. It is often used by parents talking about their children, for example,

むすめ を こうえん へ つれて いって やりました

— *I took my daughter to the park*

やさしそうな

kind-looking ...sou na can be added to the stem of adjectives to mean "...looking." For example,

かなしそうな — *sad-looking*

おいしそうな — *delicious-looking*

おばあさん

old woman Though おばあさん literally means "grandmother," it is also commonly used to mean "old woman."

すがた を かえました

to disguise or transform (oneself) Literally, "to change one's appearance."

...は いかが です か

How about...? Would you like...? This phrase can be used to sell things; for example, on trains in Japan vendors selling packed lunches might say,

おべんとう は いかがです か

— *Would you like (to buy) a packed lunch?*

14 にあいます

(it) suits (you)

よ

See Note I.

むすんで あげましょう

I'll tie it for you The verb form ...て あげる is used when doing something for someone else. For example,

まって あげましょう — *I'll wait for you*

Compare with ...て くれる, Note G.

くるしい

(it) hurts, (it is) painful

たいへん だ

Oh no! How awful!

15 こんど

this time

むすめ

young woman Though むすめ literally means



"daughter," it is commonly used to mean "young woman."

どくの くし
poisoned comb

かみのけ
hair

...なるように

In order to become... ...ように means "in order to", "so that," and is often used to express a wish (see Note A).

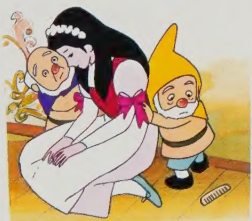
かみ を とかしました
(she) combed her hair



16 これで
now; having done this

わ

Sentence-ending often used by women in informal speech (compare with Note H).



K ...の です

...の です is often used to emphasize a statement or fact when explaining something or answering a question. It has no direct translation in English, but sometimes is similar in meaning to "it's because..."

まほう の りんご
magic apple

18 りんごうり
apple seller

たべて みましょう

try it; eat it and see The verb form ...て みる means "to try and (do)...," "to do something and see."

...ください

please give me... When preceded by a noun, ...ください means "please give me..." and is a useful way of asking for things, for example, when shopping. When applied to verbs, ...ください can also be used to ask someone to do something (see Note E).

19 ...たべた ん だ

she ate... ...んだ is a contraction of の です (see Note K), used by men in informal speech. It has no direct equivalent in English.

しんで しまった

(she) is dead しんで is the -て form of the verb しぬ, to die, and しまった is the informal form of

しまいました。See Note C for an explanation of ...てしまいました。

L なぎだしました

burst into tears ...し だす means "to start to..." It often implies that the action began suddenly. For example,

あめ が ふりだしました

— *it suddenly started raining*

わらいだしました — *he burst out laughing*

21 おか

small hill; mound.

うたったり あそんだり

sang and played The formula ...たり...たり is used when giving a sampling of the actions that have taken place. (It is assumed that other actions may also have taken place.) For example, when asked what you did over the weekend you might answer,

べんきょう を したり てがみ を かい
たり しました — *I studied and wrote
letters (amongst other things)*

おうじさま

prince

22 たいせつな

important; precious

たからもの

treasure

いきたい

(I) want to go

いらっしゃい

(you are) welcome; please come

あるきだしました

began walking See Note L for an explanation of ...し だしました。



23 いきかえった

has come back to life

25 おめでとう

congratulations

けっこんしき

wedding

て を ふって

waving their hands From the verb て を ふる, "to wave (one's) hand."



THE STORY OF SNOW WHITE

- 4 Once upon a time there was a big castle in the middle of a forest. In that castle lived a king and queen. It was a beautiful morning. Pure white snow was falling. In a room in the castle, the queen was sewing baby clothes. The queen opened the window and gazed out at the snow.
Queen: "Please let me have a pretty baby."
In due course, a pretty baby was born. The baby's name was Snow White. Snow White grew into a beautiful princess.
- 5 The King and Queen both loved her very much. The birds and the flowers also loved the beautiful and kind Snow White. Every day Snow White played contentedly with the birds and the flowers. And so, Snow White lived happily. However, one day the Queen became ill and died. Then a new Queen came to the castle.
- 7 The new queen was a beautiful but cruel person. Everyday she consulted her mirror.
Queen: "Mirror, mirror (on the wall), who's the fairest of them all?"
Mirror: "You are, your majesty."
One day, the mirror answered.
Mirror: "You are beautiful, your majesty. But Snow White is more beautiful."
Hearing this, the Queen became angry. Then she said to one of her retainers,
Queen: "Take Snow White deep into the forest and kill her."
Retainer: "Yes, your majesty."
- 8 Taking Snow White with him, the retainer went deep into the forest. But the retainer was a kind man. He could not kill Snow White.
Retainer: "Quick. Run away. Go far away. You mustn't come back to the castle."
When the retainer returned to the castle, he lied.
Retainer: "I'm back, your majesty. I have killed Snow White."
Queen: "Thank you."
Poor Snow White was all alone in the forest.
Snow White: "Where should I go? What shall I do when it gets dark? Where should I sleep?"
In tears, Snow White walked through the forest.
- 9 In the forest there was a small house.
Snow White: "I wonder who lives here?"
Snow White called out in a loud voice.
Snow White: "Excuse me! Hello!"
But nobody answered.
Snow White: "Hello!"
Snow White slipped quietly into the house.
- 10 Snow White: "Ah, somebody lives here."
On top of a small table there were seven cups and seven plates. They were all dirty. Around the small table there were seven small chairs.
Snow White: "What a mess."
Snow White cleaned up the house and washed the dishes. In the next room there were seven small beds.
- 11 Snow White: "Oh, I am tired."
Snow White was very tired. She aligned the small beds and lay down to sleep. Presently, seven dwarves returned home. This house belonged to the dwarves.
Dwarf: "Somebody's cleaned up for us!"
Dwarf: "Somebody's done the washing up!"
Dwarf: "Somebody's asleep on the beds!"
- 12 Snow White woke up and was surprised.
Snow White: "Who are you?"
Dwarves: "We are the dwarves."
Snow White: "I am Snow White. I cannot return to the castle. May I stay here?"
Dwarves: "Yes, alright. You can live here."
Snow White: "Thank you. Thank you very much."
Every morning the dwarves went to the mountains to search for diamonds.
Dwarves: "We're going out now, Snow White."
Snow White: "Good-bye."
Everyday Snow White cleaned the house, did the laundry, and prepared the meals. Meanwhile, back in the castle, the Queen consulted her mirror.
- 13 Queen: "Mirror, mirror (on the wall), who's the fairest of them all?"
Mirror: "Snow White."
Queen: "What? Snow White?"
The queen asked in surprise.
Mirror: "That's right. Snow White is living in the forest."
Queen: "Well then, I'll kill her myself."
The queen disguised herself as a kind-looking old woman. Then she went to the dwarves' house in the forest.
Queen: "Hello, would you like to buy one of my beautiful ribbons?"
- 14 Snow White: "My, what a beautiful ribbon."
Queen: "It really does suit you. Why don't I tie it around your neck for you."
Snow White: "Oh, that hurts."
Snow White became unable to breathe. The Queen hurried back to the castle.
Presently, the dwarves returned.
Dwarf: "Oh no!"
Dwarf: "Snow White has fainted!"
The dwarves went to Snow White's aid. Snow White

soon recovered. In the castle, the mirror again answered the Queen's question.

15 Mirror: "It is Snow White."

This time the Queen disguised herself as a young girl. Taking a poisoned comb, she went into the forest.

Queen: "Hello, would you like to buy this beautiful comb?"

Snow White: "My, what a beautiful comb."

Queen: "To make your beautiful hair all the more beautiful."

The Queen combed Snow White's hair with the poisoned comb.

Snow White: "It hurts!"

Snow White fell to the ground and did not move.

16 Queen: "Now I am the fairest of them all."

However, the mirror responded.

Mirror: "Snow White is the fairest."

Queen: "That's a lie."

Mirror: "It's true. The dwarves saved her. Snow White is alive."

The Queen was angry.

Queen: "I shall kill Snow White —without fail."

The queen made a magic apple. Then she put poison in the apple.

18 The queen disguised herself as an apple seller.

Queen: "Hello, would you like to buy a tasty apple?"

Snow White: "My, that does look tasty. But I won't have one."

Snow White refused.

Queen: "I'll taste one and see."

The queen ate one apple.

Queen: "Ah, it is tasty. Well, go on, do have some yourself."

Snow White: "Thank you. Well then, please give me one, too."

Snow White ate the apple.

Snow White: "Oh, I'm in pain!"

19 Snow White fell to the ground and did not move.

Delighted, the queen returned to the castle.

The dwarves returned.

Dwarf: "Oh no!"

Dwarf: "It's because Snow White ate a poisoned apple."

Dwarf: "Snow White is dead."

Dwarf: "We cannot save her."

The dwarves burst into tears.

The dwarves put Snow White in a glass casket.

21 They then placed the casket on a hill.

Dwarf: "Why did she die?"

The dwarves cried everyday. The animals of the forest cried with them.



Birds: "You can't sing songs or play with us any more."

The birds too cried with them. And so they lived, weeping for her every day.

A prince from a far away country arrived upon that place.

Prince: "What a beautiful princess."

22 The prince spoke.

Prince: "Please give this princess to me."

Dwarves: "No."

The dwarves responded.

Dwarves: "Snow White is our precious, precious treasure."

Prince: "I wish to take this princess to my castle. You are welcome to come to the castle too, any time you wish."

The prince thus exclaimed. The prince's retainers lifted up the glass casket, and began walking towards the castle.

23 The prince also set off towards the castle, riding on a white horse. Just then, the glass casket shook, and Snow White awoke.

Snow White looked around her.

Snow White: "Where am I?"

Prince: "With me."

Dwarves: "Wow! Snow White has awoken!"

Animals: "Wow! Snow White has come back to life!"

Everyone jumped up in joy.

25 Prince: "I love you. Please become my Queen."

Snow White: "I love you, too."

Dwarf: "Congratulations."

Dwarf: "Congratulations."

The dwarves and the animals sang songs and danced in joy.

Snow White: "Dwarves, animals, thank you very much. Everyone, please be sure to come to our wedding."

The prince and Snow White rode off towards the castle. The dwarves, the animals, and the birds waved goodbye to them.



3 1530 00112 3313

KANA READERS

KODANSHA NIHONGO FOLKTALES SERIES ⑤

THE STORY OF SNOW WHITE

About KODANSHA NIHONGO FOLKTALES

Designed to help students learn modern Japanese, the Kodansha Nihongo Folktale Series presents popular and entertaining folktales of the East and West. Each tale is rewritten in simple spoken Japanese, using only kana script. The book also provides an English translation, and four pages of explanatory notes, and is suitable for classroom use, or for self-study and practice at home.



KANA READERS

KODANSHA NIHONGO FOLKTALES SERIES

- 1 MOMOTARO, THE PEACH BOY
- 2 THE RUNAWAY RICEBALL
- 3 THE GRATEFUL CRANE
- 4 ANIMAL FABLES
- 5 THE STORY OF SNOW WHITE
- 6 CINDERELLA

JUL 21 2003



P7-DRR-238



90000



770017956

4-7700-1795-2



Asia for Kids

P.O. Box 9096
Cincinnati, OH 45209
1-800-765-5885

定価1,000円(本体971円)

ISBN4-7700-1795-2 C0781 P1000E

J JAPANESE
EASY
GRI